



南林間小だより

大和市南林間9-3-2

☎ 275-3141



3月号

先日の授業参観では、お忙しいところ、ご来校くださりありがとうございました。子どもたちは、授業参観に向けて一生懸命に練習をし、本番では堂々と取り組む姿を見せてくれました。一人ひとりの子どもが取り組む姿勢に、感動する場面がたくさんあり、昨年4月に学年が進級した時と比べると、とても頼もしく成長したと思います。

3月は「別れ」と「新たなスタート」の時期です。6年生は卒業に向けて、在校生は進級に向けて、それぞれが自分の成長を振り返り、次の目標を考える大切な時間となります。

この1年で、子どもたちは大きく成長しました。毎日会っている子どもたちですが、授業参観で見た姿はもちろんのこと、日頃の何気ない行動や言動の中に必ず成長している姿があります。

- ・できるようになったこと
- ・がんばったこと など

子どもは、日々成長していますが、何が成長しているのか、どんなところが成長したのかは、誰かから指摘されなければわかりません。4月からのお子様の様子を思い浮かべてみるとたくさんの成長が感じられるはずです。ご家庭でもぜひ話題にさせていただき、お子様の成長と一緒に喜んでいただければと思います。

この1年間、保護者・地域のみなさまには温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。子どもたちには残りわずかな日々を大切に過ごすことができるよう、教職員一同、一日一日を大切にしながら、教育活動をしっかりと行ってまいります。

(校長)



学年の終わりとし進級を控え、期待と不安が入り混じった子供たちの瞳に、この一年の確かな成長を感じます。4月よりたくましくなった背中を見送りながら、ある苦い記憶を思い出します。

息子が小3のちょうどこの時期、気の合う仲間たち数名で近所のお宅めがけ石を投げていたところ、窓ガラスを割ってしまいました。理由を聞くと「楽しかったから」。それ以上でも以下でもない理由に、親として不甲斐なさを感じたものです。しかし、今、社会人になった息子は、「本当に楽しかったんだよね。今思うと、なんであんなことしたんだろう。」と笑います。

子供とは、大人の理屈を超えた世界で生き、失敗しては気づき、成長していくものです。大人の理屈で「納得のいく理由」を探したり、子供の気持ちや感覚を「大人の言葉」にして解釈したりする必要はないのかもしれませんが。小さい時の失敗や後悔は、彼らが自立するための大切な宝物です。

色々気になることはあっても、子供は失敗を糧に自ら前へ進む力を持っています。その力を信じ、成長を、時にはあたたかく、時には厳しく見守っていく姿勢が大切だと思います。

保護者の皆さま、地域の皆さまには、引き続きご協力をよろしく願いいたします。(教頭)